

東京鰐陵

発行●東京鰐陵会
発行所●東京都目黒区中目黒5-2-9
目黒産業協会発行
FAX(03)3476-0556
編集●東京鰐陵編集委員会

『東京鰐陵、21世紀へ』

第15回東京鰐陵会総会 当番幹事 佐々木文夫 (2頁目次)

東京鰐陵会の皆さん、
本年、1999年に開催される東京鰐陵会総会は、第15回、30年目という意義ある節目の総会でもあり、且つ今世紀の最後を飾る総会でもあります。

この総会に向けて、当番幹事(25回、30回)が相談を重ねておりますが、会場確保を優先した関係から、目下の予定では、11月19日(金)赤坂の全日空ホテルにて開催するべく準備が進められております。

標記の『東京鰐陵、21世紀へ』というスローガンは、我々東京鰐陵会の会員が新しく開ける未来へ向けて、大きくはばたこうではないか、という願いを込めたものであります。そのために石巻と鰐陵の昔を偲び、鰐陵の新しい行方を知ることが望まれます。

今度の総会では、鰐陵の後継者たちや志の同業者が作成した映像により、故郷石巻や母校石高などの今昔をお目にかけようとする準備を進めております。

ご存じの通り石巻の隆盛の礎は、独眼竜政宗により築かれました。川を大改修し、港から千石船で江戸に米や木材を運んだと言われます。そのため造船も盛んで仲業を中心に数多くの造船所がありました。

慶長年間には、仙台藩士支倉常長を頭として月浦から「サンク・ファン・パウチイスタ」が船出し、「南蛮国」までを往復しました。この偉業を記念して93年に復元建造され保留されてい

しかし今では石巻は漁業基地として生まれ変わり、三陸沖の恵みを市場に届けています。なかでも生鮮の水揚げは全国一と謳われ、船がのって甘みのあるトロカブイなどは考えただけでも涎が出そうです。キチジをよ

石巻に帰ったことがないという方には懐かしさと驚きを連続演出する映像をお見せしようと同感しております。

東京鰐陵会の皆さん、11月19日には、旧く懐かしい皆さんと顔を合わせ、会の初めには、北



(第14回総会から)

んだんに使った味かまぼこやホヤの味も忘れられません。川開きの橋通りの雑踏や、夕暮れからの花火大会も正倉です。このように歴史を辿り味を思い出し、今の学び会をお見せしようとしています。ご参加お待ちしております。

事務局から

事務局員 渡邊 邦夫 (24頁目次)

1999年となりましたが、東京鰐陵会の皆様には、各分野に、ご健勝にてご活躍のことと存じます。

21世紀はいつから始まるのか、2説があるようですが、皆様はどのようにお考えでしょうか。それはさておき、今年も東京鰐陵会、第15回総会の開かれる年です。会員の皆様は、ご指導とご協力をお願い申し上げます。

去る10年2月3日、当会会計担当の事務局次長、平岡 俊君(30回生)の急逝をみました。次期事務局員をお願ひすべし人々、大変期待をしていたのですが、止むなき事情となつてしまいました。心からご冥福をお祈り申し上げます。

急逝 大先輩の高橋金雄さん(17回生)に会計をみてもらい、現在まで後継者の決まらぬままとなっております。大先輩にこれ以上の甘えは許されるべくもななく、会員の中で、当会の会計を担われて下さる方を探しております。できれば、30回生以降の方を、と希望しております。よろしくご協力をお願い申し上げます。

9月29日(月)	総会担当幹事会	5名
9月30日(火)	全日空ホテル	5名
9月30日(火)	理事会	25名
10月4日(土)	青山荘	7名
10月4日(土)	会報発送	7名
10月14日(火)	祐天寺 工場協会	4名
10月14日(火)	会計事務	4名
10月23日(水)	三宅事務局次長事務所	4名
10月23日(水)	総会担当幹事会	9名
11月4日(火)	竹橋会館	9名
11月4日(火)	総会準備会	5名
11月12日(水)	三宅事務局次長事務所	2名
11月12日(水)	総会最終打ち合わせ	2名
11月13日(木)	三宅事務局次長事務所	11-13名
11月13日(木)	第14回東京鰐陵会総会	11-13名
11月13日(木)	全日空ホテル	11-13名
平成10年2月5日(木)	事務局次長 平岡 俊氏通夜	11-13名
2月5日(金)	会長以下多数	11-13名
2月27日(金)	平岡 俊氏 告別式	11-13名
2月27日(金)	鰐陵会会旗落成記念式典	11-13名
3月11日(水)	事務局会議	4名
3月11日(水)	三宅事務局次長事務所	4名
4月15日(水)	理事会準備会	5名
4月15日(水)	三宅事務局次長事務所	5名
4月24日(金)	理事会	23名
6月23日(火)	NHK青山荘	23名
6月23日(火)	事務局打ち合わせ	5名
7月27日(月)	新居	5名
7月27日(月)	事務局会議 会計	5名

『東京鰐陵、21世紀へ』

東京鰐陵会 第15回総会は
11月19日(金)18時30分からです。



場所：東京全日空ホテル「青雲の間」
港区赤坂1-12-33 地下1階 Tel.(03)3505-1111(代) 会費：12,000円

〈幹事学年〉 26回生
30回生
34回生

三宅事務局次長事務所 4名

8月11日(火) 定時制高校野球全国大会

世田谷 駒沢球場 6名

8月15日(土) 駒陵同窓会

石巻 グランドホテル 2名

10月9日(金) 会計事務所と会議

三宅事務局次長事務所 5名

12月14日(月) 事務局忘年会

新宿 5名

平成11年3月10日(水) 今年初顔合わせ

新宿 8名

4月23日(金) 東京駒陵会総合担当幹事会

港区田町 6名

5月12日(水) 総合担当幹事長と打ち合わせ

新宿 2名

5月21日(金) 総合担当幹事会

港区田町 5名

6月9日(水) 事務局打ち合わせ

人形町 3名

6月11日(金) 総合担当幹事会

港区田町 6名

6月19日(土) 石巻住中在京同窓会(招待)

渋谷 2名

6月22日(火) 総合会場準備会

赤坂全日空ホテル 4名

7月4日(日) 東京白うめ会総会(招待)

ホテル・ニューオータニ3名

8月10日(火) 事務局連絡

新宿 2名

8月14日(土) 駒陵総会

石巻グランドホテル 2名

以上

全国高校定時制通信制 軟式野球大会

石高定時制ベスト8

8月15日から20日にわたって開催された定時制通信制高校の軟式野球大会で、東北・宮城地区代表として2年連続出場した石巻高定時制は、ベスト8に輝きました。

1回戦(川崎・等々力球場) 石巻4-1明 豊(福岡)

2回戦(神宮球場) 石巻7-1科枝学園日野(東京)

3回戦(駒沢球場) 石巻1-9高知工(四国・高知)

なお東京駒陵会から以下の方々が応援に駆け付けました。

渡辺邦夫(24)、原光春(20)、阿部進(31)、坂本幸久・三宅哲(27)、吉田悦雄(22)、橋本剛寛(20)、佐藤哲雄(26)



8月16日 川崎市等々力球場で

★卧敷 心からご冥福をお祈り申し上げます。

恩師 浅野正蔵先生(5回生)

在職 昭和22年(29年)

1回生 成田 均殿

1回生 三宅正雄殿

5回生 赤塚金次郎殿

9回生 今泉重郎殿

- 15回生 佐藤昌義殿
- 22回生 阿部愛夫殿
- 24回生 高橋明男殿
- 24回生 浅見忠昭殿
- 24回生 鎌田正明殿
- 24回生 菊地日出彦殿
- 44回生 (旧姓) 浅野
- 阿部剛一郎殿
- 25回生 北沢樹三郎殿
- 25回生 千田英雄殿
- 30回生 平岡 俊殿
- 32回生 浅川 勉殿
- 41回生 三浦周治殿
- 44回生 菊地啓二殿
- 合掌

浅野先生の思い出

吉田 悦雄 5回生

先願(5回生)で恩師であった浅野正蔵先生がお亡くなりになられた由、ご遺族の方よりご通知をいただき、先生への思い出が次から次へと思い出されてきました。その二、三を綴ってみました。

先生の昭和22年の石巻デビューは、強烈な就任の挨拶で始まり、それは中国時代の田園詩人陶淵明の「暮去来而不可追、菊委露、草长日暝、恨不持一壺酒、与尔同销万古愁」を引用したもので、音吐朗々と、母校に帰って来た心算を吐露されたものであり、一夜明ければかつて鬼畜米英が民主主義を説く救世の師匠とあがめられる価値観の約法に、少年としても愕然とさせられたあの混乱した社会にあつて、教師としての、先願としての心算を、中国古典に基づいたお話には、私にはとても新鮮なものであり、

さらに、先生は当時通谷から通学する生徒の間では、伝説上の人物でもありました。「三ッショウゾウ」ともいって、「三ッショウゾウ」ともいって、平均点が90点であった通谷出身の生徒達の目標でもあった先願でありました。ちなみに「三ッショウゾウ」とは、3回生の原谷正造氏、5回生の浅野正蔵氏、3人目は先願。

このような先願が先生として石巻に赴任されたので、私には興味津々の先生であつたのであります。われわれは、早速先生の個性と想つて、「湖明さん」なるニックネームを挙げたのであります。

先生の授業での板書はそれは見事なものでした。消さずに置き、次の先生によく吃られたものでした。また、テストで百点以上の評点をつけ、生徒達を驚かせたものでした。生徒自身もその考えを付加した者に対してその評点をプラスしたものでした。私は1-2-4点でした。漢字二字分6点マイナスのこと、国語が大好きになりました。

私としては最も記憶にあるのは、通学途上の読書に対して、西洋文学もといけど、明治文学と中国古典を勧められたこと、書体は、私の今までの仕事に大きな力となりました。大いに感謝している次第であります。昭和25年に卒業して以来、先生との再会はない、3年頃でした。私が尚学書(小学館)に勤め、

高校国語科の教科書を担当するようになり、高校国語科の教科書を担当するようになり、38年の勤務経験の改定による新しい国語科の教科書の教材について、文部省による教材研究の発表会が千葉県船橋高校で開催された時、浅野先生は主任研究員として提案され、発表されたのであります。早速、多忙の中の先生に名前を通知しました。先生は喜んでくださり、以後、教科書の編集者と執筆者との関係をつくっていただき、いろいろご指導をいただきました。

先生の執筆された原稿は、その内容はもちろん明確な楷書で、法文の枚数や字数でピシッと決まっております。大助かりの執筆でありました。教材研究がテスト用見本問題集用などの原稿執筆に、

「俺ちゃん」が天国に旅立ってから、もうすぐ1年以上の時が過ぎた。「おーい、元気か」。電話口から聞こえる、なまりの残る声、それが今でもはっきりと耳に残っている。

突然の訃報が届いたのは平成10年の初めだった。当時、わたしは福岡にいたのだが、その知らせを届けたことができなかった。「伊藤さんですか。電話の声を聞かなくていいよ」と、声は「聞かなくていいよ」と続けた。平岡俊が亡くなり、

「俺ちゃん」が天国に旅立ってから、もうすぐ1年以上の時が過ぎた。「おーい、元気か」。電話口から聞こえる、なまりの残る声、それが今でもはっきりと耳に残っている。

突然の訃報が届いたのは平成10年の初めだった。当時、わたしは福岡にいたのだが、その知らせを届けたことができなかった。「伊藤さんですか。電話の声を聞かなくていいよ」と、声は「聞かなくていいよ」と続けた。平岡俊が亡くなり、

「俺ちゃん」が天国に旅立ってから、もうすぐ1年以上の時が過ぎた。「おーい、元気か」。電話口から聞こえる、なまりの残る声、それが今でもはっきりと耳に残っている。

突然の訃報が届いたのは平成10年の初めだった。当時、わたしは福岡にいたのだが、その知らせを届けたことができなかった。「伊藤さんですか。電話の声を聞かなくていいよ」と、声は「聞かなくていいよ」と続けた。平岡俊が亡くなり、

この日は早めに切りあげ、渡辺邦夫先願と自宅まで送って行った。あとで「血圧のせいだったさ。さげつこもだめだつて、ドクターストップ以来、ウーロン茶を手にして、ふりかえってみれば、あのとき、もつと詳しい検査を受けておけば、と思うと残念で仕方がない。

「伊藤さん、俺を慰めよう」ということになり、近くの中華料理屋から、とうとうカナダイアンに降り込み「なんばなんでも早すぎるべ」。命はかなさ、世の無常さを嘆き、また、涙したのだった。先願たちから愛された後、

「俺ちゃん」が天国に旅立ってから、もうすぐ1年以上の時が過ぎた。「おーい、元気か」。電話口から聞こえる、なまりの残る声、それが今でもはっきりと耳に残っている。

突然の訃報が届いたのは平成10年の初めだった。当時、わたしは福岡にいたのだが、その知らせを届けたことができなかった。「伊藤さんですか。電話の声を聞かなくていいよ」と、声は「聞かなくていいよ」と続けた。平岡俊が亡くなり、

「俺ちゃん」が天国に旅立ってから、もうすぐ1年以上の時が過ぎた。「おーい、元気か」。電話口から聞こえる、なまりの残る声、それが今でもはっきりと耳に残っている。

突然の訃報が届いたのは平成10年の初めだった。当時、わたしは福岡にいたのだが、その知らせを届けたことができなかった。「伊藤さんですか。電話の声を聞かなくていいよ」と、声は「聞かなくていいよ」と続けた。平岡俊が亡くなり、

「俺ちゃん」が天国に旅立ってから、もうすぐ1年以上の時が過ぎた。「おーい、元気か」。電話口から聞こえる、なまりの残る声、それが今でもはっきりと耳に残っている。

突然の訃報が届いたのは平成10年の初めだった。当時、わたしは福岡にいたのだが、その知らせを届けたことができなかった。「伊藤さんですか。電話の声を聞かなくていいよ」と、声は「聞かなくていいよ」と続けた。平岡俊が亡くなり、



私の今に生きていく旧制石巻中学

(門岡 歴史、木村 物理、本田 英語の三先生)

東京大学名誉教授 伏見 和郎 (口述)



はしがき
私が旧制石巻中学校に入学したのは昭和11年4月(1936年)であるから、63年前のことになる。この半世紀を超える時間の流れの中で、日本も世界も大きく変わった。この歴史を紐解いて、このところ戦前の石巻中学校時代の諸先生が生き生きと思い出されるのである。

私が旧制石巻中学校に入学したのは昭和11年4月(1936年)であるから、63年前のことになる。この半世紀を超える時間の流れの中で、日本も世界も大きく変わった。この歴史を紐解いて、このところ戦前の石巻中学校時代の諸先生が生き生きと思い出されるのである。

し、これが全国勝利を勝ち取る契機となつた」と説明してくれ、これは戦後日本の教科書にあることと反対で、戦前の報道である「攻撃を受け、やむなく応戦した」が本当であつたと知つた。最近では東京裁判も極東国際軍事裁判でインド代表裁判官のパール博士がたゞ一人「日本無罪論」を唱へ、勝者が敗者を裁く不公正さを痛罵したことも知つた。彼れたりとはいふも大東元帥がインディの独立を求めたことがその背景にあつたのであろう。マレーシアのマハティール首相も少年時代の思い出として、イギリス軍を追い出したのは自分と同じく日本人であることに衝撃を覚えた」と述べている。

東京大学で電気工学を専攻するようになったのは、そもそも電気現象に興味をかき立てて頂いた先生のお陰によつている。その後東大原子核研究所で放射線計測学を専門とし、定年退官後にも会社顧問として後援の指導に当たつていられるが、やつてい

る。生け花、茶の湯、日本庭園のほかにはその典型なのである。先日近くの創立文化会館で能「船井屋」が演じられた。後で解読者の早稲田大学教授の方と話をして石巻中学校時代の本田先生の思い出を伝えた。そのとき本田先生は先年文化功労賞を受けられ、全集が出版されているとのこと伺つた。

キリスト教のない日本でもうして道徳律が守られているのかとの質問に答えて、新渡戸稲造は有名な「武士道」を書いたのである。軍町時代僧教と佛敎の基礎の上に武士道と云う道徳律が生まれ、永らく日本人の規範となつてきたのである。戦後この規範が否定され、伝統的な美風良俗が失われてしまつてい

る。生け花、茶の湯、日本庭園のほかにはその典型なのである。先日近くの創立文化会館で能「船井屋」が演じられた。後で解読者の早稲田大学教授の方と話をして石巻中学校時代の本田先生の思い出を伝えた。そのとき本田先生は先年文化功労賞を受けられ、全集が出版されているとのこと伺つた。

キリスト教のない日本でもうして道徳律が守られているのかとの質問に答えて、新渡戸稲造は有名な「武士道」を書いたのである。軍町時代僧教と佛敎の基礎の上に武士道と云う道徳律が生まれ、永らく日本人の規範となつてきたのである。戦後この規範が否定され、伝統的な美風良俗が失われてしまつてい

昭和20年8月15日、原子爆弾の洗礼とソ連の参戦を契機に、日本は太平洋戦争に敗北した。古来政策は民主主義の定着といふ種福園があつたが、基本は日本を二度とアメリカの敵対勢力にはしないといふことであつた。一連の経済政策、教育制度の変更、共産党の合法化に更に新憲法はその意向を反映しているであつた。しかし早くも昭和25年に至り、東西冷戦の始まりと朝鮮戦争の勃発は事態を一変させた。アメリカは冷戦に協力させることになり、この間に我が国の産業の復興が急速に進んだ。しかしソ連の崩壊は事態を再び一変させた。ソ連に代つて日本が経済大国として驚異に映つたのであろうか。1990年以降の事態を第二次大戦の敗北と表現している人もある。しかしこれは私の見るところ事実は日本が戦争に負けたことの必然的な結果であり、米ソ対立の陰で一時的に両国状態が回復さ

れた。先生は丸顔に口髭を生やした偉丈夫であられ、脚杖のような長い教鞭で教壇をトントンとつきながらにこやかにしかし自信に満ち、熊のように歩き回りながら講義をされていく。話が大概海を以て西欧植民地支配にさしかかると一段と熱が籠もつたものである。今でも頭に浮かぶのはアングロサクソンのオーストラリア支配の神話である。タスマニア人を絶滅させたこと、タスマニアモンキーといつてその親指の骨でパイプを作つた話や、原住民の入れ墨の皮膚をなめてその毒に誘引して使った話など今でも記憶に残つている。

物理の木村建雄先生
当時の石巻中学の東城室には今は博物館でしか見られないような教材が用意されていた。天気が悪いと巧くゆかないんだが、と書かれた見せて下さられた大花を飛ばせて見せて下さられた。ワイムスハースト起電機という手回しの静電気でバリバリと大きな気中放電を見せたい。10人程が手を繋いで輪になり周りがコンダクターに留まつた電気が触れ、ビリッといび上がる感電体感もした。丸いガラス球に三本角の生えた

要領の本田受次先生
本田先生に習つたのは「能」である。先生は「お神楽先生」と言われており、東北各地の民間芸能「神楽」を訪ね収集記録されていられたので、自ずとこのニククネムが付けられている。先生は英語の授業以外はなさなかつたので、生徒達が能に就いて話して下さるとせがんだことがあつた。この時言われた一言が耳に残つている。能について習つたと言つてもただこれだけであるが能の本質を教えただけであらう。日本文化の源流は武士勢力の確立と共に起こり軍町時代に花が咲いたのであ

る。生け花、茶の湯、日本庭園のほかにはその典型なのである。先日近くの創立文化会館で能「船井屋」が演じられた。後で解読者の早稲田大学教授の方と話をして石巻中学校時代の本田先生の思い出を伝えた。そのとき本田先生は先年文化功労賞を受けられ、全集が出版されているとのこと伺つた。

キリスト教のない日本でもうして道徳律が守られているのかとの質問に答えて、新渡戸稲造は有名な「武士道」を書いたのである。軍町時代僧教と佛敎の基礎の上に武士道と云う道徳律が生まれ、永らく日本人の規範となつてきたのである。戦後この規範が否定され、伝統的な美風良俗が失われてしまつてい

る。生け花、茶の湯、日本庭園のほかにはその典型なのである。先日近くの創立文化会館で能「船井屋」が演じられた。後で解読者の早稲田大学教授の方と話をして石巻中学校時代の本田先生の思い出を伝えた。そのとき本田先生は先年文化功労賞を受けられ、全集が出版されているとのこと伺つた。

キリスト教のない日本でもうして道徳律が守られているのかとの質問に答えて、新渡戸稲造は有名な「武士道」を書いたのである。軍町時代僧教と佛敎の基礎の上に武士道と云う道徳律が生まれ、永らく日本人の規範となつてきたのである。戦後この規範が否定され、伝統的な美風良俗が失われてしまつてい

れた。先生は丸顔に口髭を生やした偉丈夫であられ、脚杖のような長い教鞭で教壇をトントンとつきながらにこやかにしかし自信に満ち、熊のように歩き回りながら講義をされていく。話が大概海を以て西欧植民地支配にさしかかると一段と熱が籠もつたものである。今でも頭に浮かぶのはアングロサクソンのオーストラリア支配の神話である。タスマニア人を絶滅させたこと、タスマニアモンキーといつてその親指の骨でパイプを作つた話や、原住民の入れ墨の皮膚をなめてその毒に誘引して使った話など今でも記憶に残つている。

物理の木村建雄先生
当時の石巻中学の東城室には今は博物館でしか見られないような教材が用意されていた。天気が悪いと巧くゆかないんだが、と書かれた見せて下さられた大花を飛ばせて見せて下さられた。ワイムスハースト起電機という手回しの静電気でバリバリと大きな気中放電を見せたい。10人程が手を繋いで輪になり周りがコンダクターに留まつた電気が触れ、ビリッといび上がる感電体感もした。丸いガラス球に三本角の生えた

要領の本田受次先生
本田先生に習つたのは「能」である。先生は「お神楽先生」と言われており、東北各地の民間芸能「神楽」を訪ね収集記録されていられたので、自ずとこのニククネムが付けられている。先生は英語の授業以外はなさなかつたので、生徒達が能に就いて話して下さるとせがんだことがあつた。この時言われた一言が耳に残つている。能について習つたと言つてもただこれだけであるが能の本質を教えただけであらう。日本文化の源流は武士勢力の確立と共に起こり軍町時代に花が咲いたのであ

る。生け花、茶の湯、日本庭園のほかにはその典型なのである。先日近くの創立文化会館で能「船井屋」が演じられた。後で解読者の早稲田大学教授の方と話をして石巻中学校時代の本田先生の思い出を伝えた。そのとき本田先生は先年文化功労賞を受けられ、全集が出版されているとのこと伺つた。


キリスト教のない日本でもうして道徳律が守られているのかとの質問に答えて、新渡戸稲造は有名な「武士道」を書いたのである。軍町時代僧教と佛敎の基礎の上に武士道と云う道徳律が生まれ、永らく日本人の規範となつてきたのである。戦後この規範が否定され、伝統的な美風良俗が失われてしまつてい

る。生け花、茶の湯、日本庭園のほかにはその典型なのである。先日近くの創立文化会館で能「船井屋」が演じられた。後で解読者の早稲田大学教授の方と話をして石巻中学校時代の本田先生の思い出を伝えた。そのとき本田先生は先年文化功労賞を受けられ、全集が出版されているとのこと伺つた。

キリスト教のない日本でもうして道徳律が守られているのかとの質問に答えて、新渡戸稲造は有名な「武士道」を書いたのである。軍町時代僧教と佛敎の基礎の上に武士道と云う道徳律が生まれ、永らく日本人の規範となつてきたのである。戦後この規範が否定され、伝統的な美風良俗が失われてしまつてい

キリスト教のない日本でもうして道徳律が守られているのかとの質問に答えて、新渡戸稲造は有名な「武士道」を書いたのである。軍町時代僧教と佛敎の基礎の上に武士道と云う道徳律が生まれ、永らく日本人の規範となつてきたのである。戦後この規範が否定され、伝統的な美風良俗が失われてしまつてい





菅野総合病院

附属 人工腎臓透析センター

菅野 寿 (15回生)

東武中央病院

菅野 寿 (15回生)

〒351-0114 埼玉県和光市本町28
☎(0484)64-5111 (大代表)

参議院議員 日本大学評議員 日本大学医学部同窓会副会長 学校法人 アフ리카協会 理事



石巻町写真

解説 遺見 清二 (20回生 盛岡市在住)

日和山から見た石巻町写真は推定ですが、大正3年6月以降です。理由は同年月に完成した2代目西内海橋が写しこまれてくるからです。

時代が明治から大正へと変わり、北上川水運が衰退し、町中に無気力が漂うなか、鉄道の開通、河川改修と町の近代化に向けた諸事業が進められ、別馬力の機関を駆使して行くよ漁港の石巻」と歌われ、水産漁業の町へと産業転換が計られた頃です。

石巻に電灯が灯つたのは明治44年4月、電話の架設は40年、大正元年、東北線にアクセスする待望の石巻郵便鉄道が石巻と小牛田間に開通。また明治42、3年と続いた北上川の洪水被害を内務省が第2次河川改修工事を始めたのが大正元年です。仙

台上木田強所石巻事務所が九軒丁(門脇町)に開設、榊本町(八幡町)に機械工場、北目町(四

正2年4月に起工式を挙行、桃生・津山町で北上川を山北上川と新北上川(開削)に分流、田北上川への流況を調整、よって石巻は水害から守られるよう

に、騒音問題や新野川可動堰に使用された機軸類は滑の機械工場で作られたもの、丁度、渡瀬船がドックの前に停泊してい

る。 陣田町・北目町から藤巻・船岸に至る北上川左岸に石垣護岸が完成したのは明治33年頃。一世紀の風雪に耐えた護岸は石の産地・石巻ならではの景観で石巻が誇る文化遺産。

かつて梨山は川岸近くまで迫

り出していましたが明治25年以降、梨山は削りに削られて宅地化が進んだ姿です。堤防が民地より一段と高い所に築かれたことがわかります。

白く塗られたモダンな2代目西内海橋の落成式は大正3年6月6日、観覧パイプの橋脚に木製の欄干はモダンだったが、パイプが更に細くて豪華である。東内海橋を荷馬車が通過中ですが、荷馬車が通る度にガタゴトと揺れたと伝わっています。橋

の両脇や街中に電柱が林立しています。一段と開発が進んだ中瀬には料亭・芝居小屋のほか魚市場と造船関連業がひしめき合

い活気が感じられます。機軸船や運搬船、船舶やひらた舟など種多な船が停泊、手前の造船所は、中瀬で最初創業した船石巻造船合資会社、機軸船が上瀬

しているのが見える。上流側の木製クレインの建つのが電九汽船会社の造船所、同社は北上川と沿岸航路営業でしたが、営業不振から大正5年には会社を解散しています。帆船の石手の大

屋根は貨物専門の仲商製靴所、機軸と鉄工の清野鉄工所など、輸入に頼っていた発動機が国産化され漁船に石油発動機が導入されたのは明治末です。大正3年、船岩城屋の祖となる海産物

商岩城清作は将来を見越して町内で初めて石油を扱った先駆者。明治19年以來の内海産は大正6年、岡田産と名を改めました

が、写真の頃は西内海橋、真の魚市場に木製の機軸、停泊する船は水筒船でしょうか。中瀬には合資会社、旧代正西内海橋、石

畑岡外科クリニック

院長 畑岡 寛

(20回生)

診療所 横浜市南区陸町二丁目一八二一四
電話 (〇四七) 七二四一三四三八

本と雑誌

株式会社 初宝堂

代表取締役 菅野七三郎

東京都目黒区青葉台一ノ六ノ三九青葉台パークハイタワー一階
電話 (〇三三) 三四六一一四七三六・〇八五三



重要商店など私設魚問屋が軒を連ね川魚のほかに鮎、鱈、鯛などを販売、魚の運搬は馬車と大八車と自転車が行われ、石巻に自動車が登場したのは大正4年、第一号は味明商店の鈴木が購入した外国車、大正3年は第一次世界大戦が勃発、町民の楽しみは草履馬と芝居、活動写真(映画)見物、東北館は同年の開館、内海橋のたもとに2階建ては供屋の前身、舞の舞臺跡尾張屋、右隣の3階建ては明治34年新築の重要館(舞臺跡)、中町の警察署と鉄骨製の火の見櫓が一際目を引く、平屋建てが多い中、この高さの建物は街中が見渡せた良き時代、旧タクシナイ丸光館の電夫会社前原屋に保留中の白い汽船は石巻一萩、石巻一塩釜を結ぶ定期船、供養は横須賀一函館線路の中継船、船は小型ながらもスマートで現代にも通用するハイカラ船。

下流側の板橋橋に保留中の2隻の汽船は2本マストのスクーター型汽船のようである。北上川に因って開けた石巻は川沿いの本町、中町、その西側の裏町や真町裏が商業の中心地、林立する蔵屋敷が社、明治期の二度の大火に燃やした商家が大火災に燬えた瓦葺の土蔵作りの数々、今となっては珍しい。明治期の古い土蔵は中央一丁目のすきやき石川の東側に現存、電丸汽船の木村氏が全盛期に建てた土蔵で石巻の栄華を伝える貴重な建築物の一つとなっている。

住吉界隈を見ると木々の緑が色濃く、歌枕の油の流りや御島の公園化は明治36年、「すみよすつさん」と呼ばれる住吉神社は大崎神社が正式名称、住吉小学校に至る護国も明治期の築地、旧住吉陣任官蔵敷を校舎に充てたのが住吉小学校、木造



この地に生きる人々は、黒潮と北の川のもたらすものにより、特色ある歴史と文化を築りあげてきたのである。しかしながら過去、この地方に向けられた目は、この地方の地方たるいわれまで正當に見ずえたとは言いがたい。あるときは、中央の論議のなかに固有のものを舞臺させ、あるときはまた、郷土への熱い想いが普通のものを通じたのである。

小誌『石巻地方研究』は、そうした過去への反省に立つて刊行された、小誌の願うところはこの地方の地方性を追求することであり、固有にして普遍的な地方像を組み立てることである。小誌はそのために、様々な資料と情報を提供し、考証と討論のプラザをつくりたいと考え、それは歴史・民族にとどまらず、言語・文字・芸術・思想・産業・経済・自然等さまざまな分野にわたるのである。

『石巻地方研究』の発行にあたり、同志同好の人びとの多きを併じ、各位の強いご支援をここに切望する次第である。

第2号の「五松山道徳特集」は品切れ、創刊誌、第3号共在庫者少となっている。第4号は今夏発行予定で、明治後期における国民的教育―石巻尋常高等小学校の場合―阿部和夫、中世長江氏の道徳地間交際とその前提、今野慶信、大正時代の石巻の風景写真と現在(仮題)橋本照雄、辺見清二解説、「本國家文書について―資料紹介―」本國英一、「古代石巻の王たち」三宅宗晴、「北上山地区南部における金山の伝承と御金」小野寺正人、「上下道の歌音」二宮は義、等の論文が掲載されている。

大の校舎は明治33年の開校でもなく百周年にならんとする。郷土のボラ堂木の下、東蔵屋敷で商業したのが、江戸時代から続く和服専門の玉木造、船場、袋井地から館田に至る川岸地帯は明治期、寂寥無味の水田に位く農民の歩状を見かねた横町の業者三木源吉翁の偉業。ケヤキの大火は袋井地の目録、同地は平土半農の仙台通尾越の末裔、子供の頃、かすがい地蔵から先の袋井地は遠い地に感じられたものである、茅葺のたた住まいが点在し、地先に川舟が浮ぶ光景は何故か寂しい、物悲しきや石巻の中の、田舎、を思わせる場所だった。

福井地区まで一望できる石巻

郷土の研究誌紹介

「石巻地方研究」 ヤマト屋書店刊

石巻地方の唯一の郷土研究誌『石巻地方研究』が創刊されたのは昭和37年11月である。地方としては珍しい総合研究誌だが、不定期刊で既刊3号を数え、今夏第4号の刊行が予定されている。

創刊号の頁を紐解くと、「歴史・遺跡探訪」と「高橋富雄、橋本照雄河野町英二、光明寺の南と北の交錯するなかにある。

熊井栄助 (1885(明治18年) - 1947(昭和22年)) 石巻市住吉町出身。仙台市東一番町の人物専門写真師・大武丈夫に師事。大正初期の石巻(風景、行事、人物)を乾板(ガラス製キャビネ判16・5cm×12cm)で撮影、のち台湾に渡り、高砂旗を大量の乾板で撮影し帰国。大正12年(1913)の開東大震災に遭い、貴重な記録は消失した。

お寺でライブ

石巻市門脇町の西光寺(門口隣住職・23期生)では、毎年10月、十夜法要前夜祭として、本堂で音楽ライブを開催している。今年も世界的なキーボード奏者ホルヘ・クンボ(フランス在住)が出演し、お寺の静寂を打破する演出が期待されている。



クンボ氏は、世界各國でコンサートをやつて来たが、今夜はど観客と心がびつたり合つて演奏できたことはない。私も感動している」と挨拶した。

同寺は、「お寺は生きていくうちに来るところ」を理念に、昭和2年からの活動を始めたとのことだが、これまでも長谷川きよしや、ボソノバの第一人者、小野リサなどを呼んで、お寺の活動は盛んになった。

「檀家さんや地域の皆さんにお寺に来て、いっしょにご一緒してもらえよう、地についた活動を続けていきたい」と門口住僧(住職)は話している。

27回生・東西対抗戦戦記

『大いびき、大の字で寝てください。』

井上 勝夫 (27回生)

昨年10月に開催された27回生「第19回・東西対抗ゴルフ大会」の案内文である。名幹事三宅君君のコピーは、いつも添えてい

「いもどは泊まってみてみたい宿で前夜祭」と、副題が続く。ごとの会場は、郡山です。宿泊先はホテルオークラのノウ、ハウで建てられ、運営されている「ホテルハマツ、ご存じの通り支配人は「佐藤明也」さん(同じく27回生)です。前夜祭会場は、原太子夫妻も利用された中国レストラン「胡蝶花」で行い



第19回東西対抗ゴルフ大会(平成10年・郡山ゴルフ倶楽部)

て宴会が始まる。宴たけなわの頃、西軍監督相原三男君から、ゴルフ対抗の説明があり、静いの中に心地よい闘争心が感じられる。

27回生の良さは、ゴルフだけの交感ではない。この宴会だけのために、わざわざ石巻から遠藤勝夫君が、東京から山山貞夫君が駆けつけてくれた。ほんのちよつと若い頃には、宴会が終わっても、翌日まで飲みだり、口角を飛ばして議論しあひ、二日酔いでゴルフをしたものだ。最近では、朝原病だとか、肝臓病や胆嚢のせいにして、早めに郡風に引きこもってしまう。

翌5日朝は、まあまあ天気、全員バスで決戦場の「郡山ゴルフ倶楽部」へ向かう。今日のルールは、個人戦はダブルベリアで順位を競い、東西対抗は上位10名のネット合計で勝ち負けを決めるというものである。個人戦の結果は、西軍の佐見邦彦君が優勝、ダブルベリアに強いところを見せつけた。準優勝は同じ西軍の堀井恒夫君、3位にやつと東軍の佐藤孝太郎君が入り、面目を保つ。

結果的には、東軍7300、西軍7100で、西軍の勝ち。一人あたり1000円の供出金を頂き、西軍の祝賀会の軍資金に納まった。金額は小さいが、勝利の名譽は、一年間、大きいものがある。

西軍の勝利は、ベテラン勢(監督相原三男君・5位、佐々木博君・7位、3位のベスタロ)の力もあったが、若手(吉田賢君・4位、本田雄英君・6位、三宅哲君・10位、浅野君見君・11位)の貢献が大きかった。

中堅どころの平塚久義君は19位、優勝経験のある上原三君は23位、菅沼義則君は24位と、

ちよつと出遅れた。総足になるが、キャプテン菅井武彦君は、ダブルベリアのハンディが効いて20位と振るわず、西軍の殊点に貢献出来なかった。

東軍では、個人8位、佐藤明也君と、9位の菅原君が善戦し、個人上位10位以内には食い込んだ。以下、12位、及川四郎君、13位、宮田昌弘君、14位、佐藤春彦君、16位、宇都宮士郎君、17位、須田清吉君、18位、石川寛敏君、21位、須藤哲次君と

ここまででは得点に貢献できなかった、時に判れあらずであった。三河一君・22位、東軍幹事代表佐藤君・25位、津田君・26

めだか展 わたしたちの青空写真展

橋本 昭寛 (27回生)

この夏、4回目の「夏休み子供写真撮影会」と、めだか展「ぼくたち」わたしたちの青空写真展」を、石巻市佐古さんの北上川河畔で開催することができた。1・シャッターをおろした後は、すぐペンにはおろさず、そのままたまにしておろす。撮るときはカメラを一つおろすと、シャッターをおろす。

1・シャッターの音をしっかりと聞いてー!! この3点をアドバイスするだけ、幼稚園児から中学生の子供たちはストリートに降りた。のままたまの真中心とくらえらるので、幼稚園児から小学生までその傾向が顕著で、真横でドモツとする写真が撮れ

位、笹町康夫君・27位と続き、心なしか帰路の後ろ姿が寂しうらだった。今年も、20日目の記念大会であり、郷里の東軍が幹事となる。どんな企画を建てて西軍をもてなしてくれるのか、今から大いに期待に胸はずませている。

最後になるが、この東西対抗を提唱し、我々同級生をこまめに盛り上げ、長年にわたつて郷里の同級生と在在の我々を結び付けてくれた、西軍のかつての会長・故中尾昭夫君に、心から感謝の気持ちを捧げたい。

西軍は、その後、会長は空席のままである。

平成12年に WE'LL BE THERE 大輪の花を咲かせます。



株式会社クレックス Clean Energy

代表取締役会長 平山貞夫 (27回生) 011-23-211140 (株)クレックスグループ

本社/千葉市若葉区加賀利町690番地 電話043(234)211140 支店:富津市/千葉市/船橋市/松戸市/市川市/成田市/柏市/浦安市/鎌倉市/横浜

札幌市/旭川市/網走市/稚内市/釧路市/帯広市/旭川市/網走市/稚内市/釧路市/帯広市/旭川市/網走市/稚内市/釧路市/帯広市



『おいしいおかし』 中野小 3年 新井 高広



『午後の北上川』 山ア小 3年 吉内 貴志



門前町・カトリック幼稚園 さとうきょうこ



『さかな』 山小 5年 木村恵理子



『うめぼし』 山小 5年 佐々木志穂



『とぶかもめ』 中野小 3年 新井 高広

や、カメラ機材を積みめだか展
一日高見川コミュニケーショ
と題して、リヤカーを引いた。
北土町白旗海岸、豊栄町海老
商店街、一関市台町の拝堂寺
の境内、水沢市内、花巻市内、
盛岡市内、岩手町御堂観音境内
（北緯40度の北上川の源流）で、
青空写真展を催しながら北上川

249kmを3週間で完歩した。
そこで見たものは太鼓より
水々として流れてやまぬ母なる
大河「北上川」の感力であった。
その反面、川岸の樹々の枝に
は農薬用の黒いビニールがひっ
かり、葎草の夏の草には冷
蔵庫が何個も積られて、花巻で
は流れていくゴミがダンプで何
十台分も山と積まれ、盛岡や石
巻では川底に自転車やゴミが
散らばっていた。

こんな北上川の現状に愕然と
していた。川を汚さないよう
に、「川の源一森林保全」に協力
しようと呼びかけた。川沿いの
道の再生を目指して、「北上川地
域民衆会」をつくり、川沿いの
「北上川サミット」、川沿いの
指導者育成の「北上川リバー
マスター講座」を開設している。北
上川流域環境交流会、「川の業
校」、「北上川フェア」の活動が
活発に進められていることを
知った。

そんな事から、地元の子供さ
んならに、北上川をもっと知っ
てほしいと、「流域の子ら手をつ
なごう運動」の第一歩として、め
だか展「これをこれからも続けてい
きたいのです」。

三浦周治君の訃報に接したの
は、5月30日の早朝であった。
三浦君の友人より、電話があり、
三浦君が心不全で29日に急逝し
たとの事であった。就いては今
晩、お通夜が津島区の智福寺会
館で行われるので会葬下さい
と、あわただしく告げ、電話は
切られた。

最初、その報を聞いた時は、
何かの間違ひではないかと、と
ても信じられない気持ちだっ
た。別荘打設という若い年齢で
亡くなったということが、なか
なか実感を伴ってこないのだ。
仕事をしていた頃の中は混乱
しつづけた。

夕方、申問に伺ったが、そこ
には悲報を受けた大勢の人々が
参列していた。そして親族の
方々の嘆息、悲しみ、さらに祭
壇上の演説を見ることにより、
世界を裏返したように、
三浦君とは高校時代に一度、
同じクラスになった覚えがある
が、格別親しく交わったことは
ない。ただ、津島町の出身でク
ラブは山形部に所属していたと
いうのが、うすうすと記憶に
残っている。

三浦君と親しく話せるように
なるのは後年、東京府税務会
の事で、その時成った三浦君は
高校時代のイメージと違っていた。
口調、あこぎをたくわえ身
体もでっぴりとして真珠があ
り、あの瘦身の三浦君が身分と
変身したものだと感じた。しか
し、名刺交換した時に、「建築家
三浦周治」とあり、名刺の裏
には、色々と立派な肩書が縦り
込まれていて、彼の現在の風貌
は高校卒業後の三浦君の才腕

三浦周治君を悼む

櫻井 政文 (自筆)



スタジオ・アマダウス+鈴木・日比野邸(写真/三浦君の年賀状から)

三浦君が亡くなって4ヶ月余
の10月11日3日から7日まで、
有志の手により「時代の意志
三浦周治 都市/建築」が主
題の友ビルで開催された。こ
こには建築家として残した数々の
模型やコンペ作品、著作が展示
された。
この展示会で目を引くのは、
おびただしい量のコンペ作品で
ある。
友人の話だと、彼は社会に対
する建築家の使命としてコンペ
に挑戦し続け、自分の夢を作品
として具現化させることに一生
懸命であったとの由である。
また、今回の展示会では、彼
の故郷に対する愛やならぬ愛憎
の発露が作品として結実してい
る。同級生シリーズと銘打った、
マルト高橋建築商店本社工場、
モディリアーナ宮城工場、金子
建設本社屋の3作品は引同級生
の会社の建築物である。地元
ではつとに著名な建築物と聞
く。そして、津島町インフォメー
ションセンター、河北町ショッ
ピングパークの公共建築も完成
させている。
さらに彼には、北上川流域全
体を一つの博物館にする構想が

あり、それは「北上川博物館構
想」として発表された。これは
流域にはの小博物館を建設し、
それぞれの地域特性や河川の自
然環境に対応した施設の相互の
ネットワーク・システムを作り
上げるという壮大な計画であっ
た。彼はこの構想にあたって、
「郷土出身の建築家にあつた百
演説より一つの具体的提案をし
たかった」と、一石を投じた
旨を書いている。
このような彼は大変、故郷を
愛していた。彼の会社の従業員
の話では、彼が高校時代の話を
いつもなつかしう語り、ま
た石巻をとても誇りに思ってい
たようだ。彼の故郷愛を裏付
けてくれた。

展示会場で遺作集を手にした
が、その序文で建築家・磯崎新
氏は、「三浦君の建築家としての
「無垢な精神」を讃えている。
今、この膨大な作品群を見て、
一つの大きな才能が失われたの
は、まさに痛恨の極みである。
ただ、郷土と展示会には、数
多くの知人、友人の参列があっ
たのは、彼の人物と交友の広さ
を物語るもので、きっと彼も天

国で喜んでくれていると思う。
最後に三浦君の略年譜を記
し、読んで同窓の方々に報告し、
追悼の詞とする。
三浦君は1951年津島町生
まれ。1966年石巻高校入学、
69年卒業。1970年日本大学
理工学部建築科入学、74年卒業。
1975年、1級建築士の資格
を得る。1977年津島市市
合研究所設立に参加。1980
年「戦後期の都市問題の整理に
関する研究」によって工学博士
の学位を取得。博士課程を修了。
1981年から1982年まで
メディア・アルダラン・アッシ
エイブ(米国)に勤務。198
3年にハーバード大学大学院デ
ザイン学部を修了。1984年
から1987年まで磯崎新アト
リエに勤務。1987年に三浦
周治アトリエを設立。同時に日
本大学理工学部において非常勤
講師を務める。
主な住宅作品に、「日川相模」
「布井邸」(名村山荘)「岡島山
荘」(スタジオアマダウス+鈴
木・日比野邸)などがある。

石巻1市9町

『ふるさと文化千円基金』運動について

—まず、東京鰐陵会が基幹となり、草の根の発想で、地域文化創造のお手伝い—

「ふるさと」、それは先人たちが、現在ここで生活をおくったちの、血と汗と知恵の結晶です。「ふるさと」を離れて生活する私たちに、正月や桜の花の季節、お城、秋の風にと「ふるさと」を思い、懐かしみ、親しみを覚え、気概を持つことができま

た。それは「母」のようなところ、実際「母なる風土」なのです。世間を全く知らないといつていい私たちが、世間に門出したところ、それゆえに尊く、いとほしく、掛け替えのないところ

「ふるさと」が、海外で働く私たちの交流を求めています。私たちの心の中にもチャンスがあれば「ふるさと」との交流を持ちたい！何か「ふるさと」にできることはないか！

生命の根源の「土産力」のある所です。おらほの言葉で喋れば、暫くゆるみ、静かに話ができ、気持ちに安らぐ所、初代まではがむしやらに働いた、さまで50代になつたら、どうも食いの好みか「ホヤ」、「カキ」、「タラコ」、そして「クジラ」があれば買うことなし。米は「ササニシキ」がうまい！ などなど、初代ならなおのこと、70代では文句なく、初代、初代では感極まって「ふるさと」をその身の内に抱いてしまうのではないのでしょうか。

その「ふるさと」が、海外で働く私たちの交流を求めています。私たちの心の中にもチャンスがあれば「ふるさと」との交流を持ちたい！何か「ふるさと」にできることはないか！

現在、日本中この地域でも、でも大いに活性化が望まれています。地元ではすでに社員、講師、石巻の創作太鼓グループの活動をはじめに、女川町では高村光太郎の顕彰碑建立、郷土史を地道に研究する河北町のグループや、鳴瀬町の東北運河を記録する会の活動、そして千石船6分の1のモデル「若宮丸」を復元した石巻千石船の会などの活発な地域づくりの取り組みが行われています。

このように地元の人たちの活動に加えて、外からのアプローチがあれば、なお一層の踏みと成果が期待できるのではないのでしょうか。

わすかな「基金」であっても、

それを母体として、お互いに頑張りますよ！ というエネルギーの交換は、きつとみんなの大きな活力になります。その気概ある風土性が未来を導くものと確信いたします。

「ふるさと」の文化・芸術の創造、発展のために一人ひとりのお志を、誕生地への感謝としてこの運動を推進いたします。

●基金の活用は、人材育成をその基本として
1・文化・芸術・学術・スポーツ研究など、志のある地元在住者および関係団体とその子弟（年齢不問）への助成。
2・伝統芸能の復活と継承・発展、創作芸術、福祉文化などへの志ある個人および団体への助成。

●「ふるさと文化千円基金」を「実行」委員会を設立させ、その企画立案など、地元諸関係先などへの呼び掛けを進める。
1・基金は、年間1人千円の会員カンパをお願いする。

●「ふるさと文化千円基金」を「実行」委員会を設立させ、その企画立案など、地元諸関係先などへの呼び掛けを進める。
1・基金は、年間1人千円の会員カンパをお願いする。

●「ふるさと文化千円基金」を「実行」委員会を設立させ、その企画立案など、地元諸関係先などへの呼び掛けを進める。
1・基金は、年間1人千円の会員カンパをお願いする。



浅井元義スケッチ石巻V

「……この地に生まれ、育った者として、海の見える風景は一度は描いてみたいテーマでした。牡鹿半島を中心に、港・浜・島を訪ね、三陸の風情を感じさせる、四季折々のスケッチをまた一度にまとめました……」（画集の序文から）

浅井元義氏（28回生）が、『石巻かほく』に週1回のペースで掲載したスケッチが画集として出版された。15年間で5冊目だという。また、今年5月の連休に、石巻駅近くのナリサワで原画展も開催された。

原画展では、印刷ではなかなか実感できない氏の技法—ザラザラした色キャンソン紙に塗り込められたオイルパステルの質感や、ボールペンの奔放な線の動き—が周辺に見られたので、スケッチしている時の心まで分かるよう興味深かった。画集にはエッセイ風な小文も添えられていて、その地方の歴史や風情にも触れているので、昔日の思いにノスタルジイを感じるかもしれない。12枚セットの絵ハガキも作られている。

オールカラー50点 頒布価格4,500円
郵送料出版/仙台市青葉区鷹ヶ森1-34-20 TEL. 022-233-5675

- 世話人に、諸先輩の方々や若い回生の方、皆様をお願いします
- 1999年9月
- 提案者および世話人一同
- (代表) 高橋 良 (前東京鰐陵会会長)
- 坂本 武久 青沼 義典
- 阿部 剛夫 井上 英治 佐々木 文夫
- 井上 勝夫 上原 藤三 三宅 哲
- 木村 啓爾
- 鈴木 健司 橋本 剛
- 滝川 勇 桑島 馨

- ほか29回生有志
- ほか30回生有志
- ほか31回生有志
- ほか25回生有志
- ほか26回生有志
- ほか27回生有志
- ほか28回生有志
- ほか29回生有志
- ほか30回生有志
- ほか31回生有志

●この11月、東京鰐陵会の総会が15回目を迎える。2年おきの開催なので第1回から数えて30年ということになる。総会の企画・運営は、数年前から当番幹事学年にお任されているが、当然のことながら幹事学年は年々若くなり、特に10回生からの優先と「ズレ」が生じる恐れがあるが、新志を出し合い、相互理解で、新志の鰐陵生が抱負のあいだ、美しめる総会にしたいものである。

26・30・34回生の幹事学年、日々、大勢の参加を期待します。

編集後記

●ようやく『東京鰐陵』No.8の発行にこぎつめた。発行が遅れたのは、編集担当の急病だが、経済的な理由も大きい。今回も「広告」によるご協力を金によって皆様にお届けできた、厚く御礼申し上げます。

●会員相互のコミュニケーション・ツールとして、継続発行できまますように、同封の振り込み用紙のご活用を切にお願い致します。

●この11月、東京鰐陵会の総会が15回目を迎える。2年おきの開催なので第1回から数えて30年ということになる。総会の企画・運営は、数年前から当番幹事学年にお任されているが、当然のことながら幹事学年は年々若くなり、特に10回生からの優先と「ズレ」が生じる恐れがあるが、新志を出し合い、相互理解で、新志の鰐陵生が抱負のあいだ、美しめる総会にしたいものである。

カナディアン・ログの木の香り
心やすまる空間です。

カナディアン / phone 03-3209-5795
東京都新宿区歌舞伎町2-37-5日新ビル2F 平160-0021

新宿で石巻の懐かしい味を!!
鰐陵会員の宴会(5名様以上)には原酒サービス。

浦霞 東元 眞宮

●石巻・女川・塩釜直送のふる里料理
(一例) 生かき
ほや
笹かま
さつま揚げ
松葉鮎

酒藏 樽 新宿店
社長 佐藤 孝 ☎3208-9772

高田馬場本店 ☎3208-9771 池袋店 ☎3971-5730